



平成 29 年 11 月 6 日

各 位

上場会社名 広島電鉄株式会社
 代表者 代表取締役社長 椋田 昌夫
 (コード番号 9033)
 問合せ先 取締役 経営管理本部長
 岡田 茂
 (TEL 082-242-3542)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月9日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成30年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,280	270	250	370	12.20
今回修正予想(B)	20,094	536	547	584	19.28
増減額(B-A)	△186	266	297	214	
増減率(%)	△0.9	98.5	118.8	57.8	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成29年3月期第2四半期)	21,612	1,210	1,291	1,120	36.93

当社は、平成 29 年 9 月 1 日付で普通株式 2 株につき 1 株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり四半期純利益を算定しております。

修正の理由

平成30年3月期第2四半期(累計)連結業績予想につきましては、運輸業において、インバウンド効果などにより宮島来島者数が当初の想定を上回って推移したことに伴い、海上運送業及び索道業で利用者数が好調に推移したものの、流通業においてストア店舗やサービスエリア店舗の業績が低調に推移したほか、建設業において受注工事の完成が第3四半期以降にずれ込んだことにより、売上高が前回発表予想を下回る見込みであります。しかし、不動産業の各種賃貸物件やホテル業の修繕工事の一部が第3四半期以降の実施にずれ込んだことも影響し、営業費用が前回予想を下回り、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はそれぞれ前回発表予想を上回る見込みとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、今後の売上高等の状況を含め不確定な要素もあることから、前回発表予想を据え置くことといたします。今後、業績修正の必要性が生じた場合は速やかに公表いたします。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上